

【地域活性化総合特区】栃木発再生可能エネルギービジネスモデル創造特区

【栃木県】

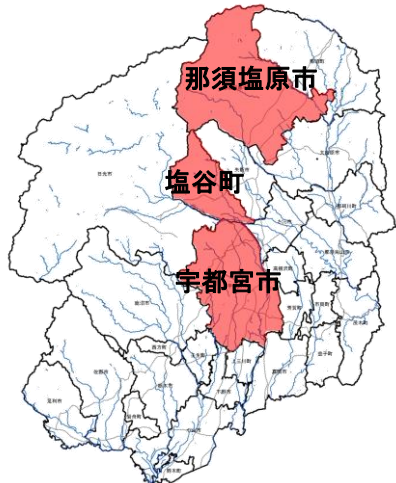
【目標】

・本県の未利用となっている再生可能エネルギー（豊富な農業用水と水路落差）及び企業・人材・資金等の地域資源を最大限活用した「先駆的ビジネスモデルによる小水力発電事業」を官民一体となって推進することで、地域の活性化を目指します。

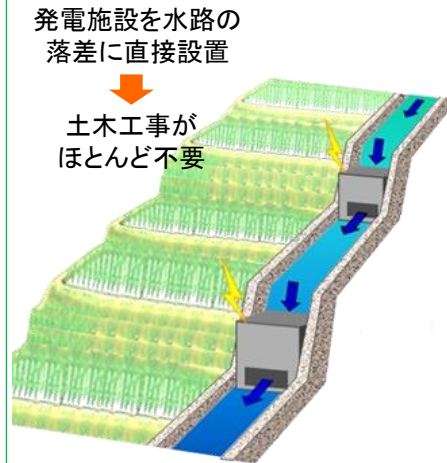
【取組概要】

- ・本県の貴重な水力資源である農業用水を活用し、出力合計1,000kW、発電量700万kWh/年の発電事業を実施します。
- ・規格化された低落差型小水力発電施設を面的に多数設置することで、初期コスト、ランニングコストの削減を推進し、事業の採算性を向上します。
- ・小水力発電事業による収益及びクリーンな電力を地域に循環・還元させることで、地域の活性化を図ります。
- ・小水力発電施設の製造、設置やメンテナンスに関わる県内中小企業の売上増加を図ります。
- ・民間企業が共同出資し設立する新会社を事業実施主体とし、金融市場を活用した新たな資金調達手法の導入によって、国と地方の財政負担を軽減した事業展開を行います。

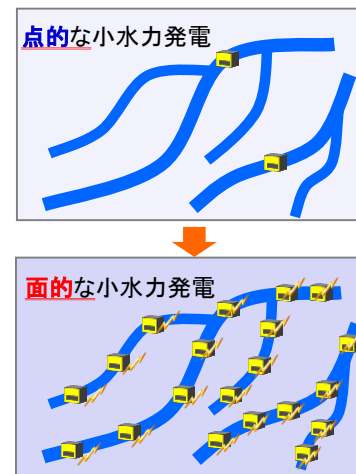
指定区域



低落差型小水力発電施設



「点から面」への転換



小水力発電実証機

